

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 森と木と水の環境教育推進事業費 (ぎふ森林づくりサポートセンター分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林活用推進課 木育推進係 緑化推進係 電話番号：058-272-8255

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,181 千円 (前年度予算額：1,181 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,181	0	0	0	0	0	1,181	0	0
要求額	1,181	0	0	0	0	0	1,181	0	0
決定額	1,181	0	0	0	0	0	1,181	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県内で展開される様々な森林づくり活動の情報を集約・発信できる「ぎふ森林づくりサポートセンター」を設置。

県内各地のぎふ木育ひろばや豊かな自然、里山を活用し、木育・森林教育の両面から、森と木からの学び「ぎふ木育」を普及することができる人材の育成を図る。センターで蓄積した情報を森林・環境税事業の推進に有効活用する。

(2) 事業内容

①ぎふ森林づくりサポートセンター運営

県内で展開される森林づくり活動の情報を集約・発信を行う。

②ぎふ木育・里山人材登録・活用の運営

木育・森林教育指導者養成講座の開催、ぎふ木育（森のようちえん等）・里山づくりにおける人材登録お活用のマッチングを行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県の緑化推進に寄与するものであることから県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	384	研修講師報償費
旅費	290	研修講師費用弁償、業務旅費
需用費	310	コピー代等
役務費	116	電話代、郵送料、研修参加保険料、クリーニング代
使用料	26	研修会場借上料
委託料	55	木のおもちゃメンテナンス代
合計	1,181	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

3 森林の新たな価値の創造と山村地域の振興

(1) 森林空間を活用した森林サービス産業の育成による山村振興

(イ) 「ぎふ木育30年ビジョン」の実現に向けた「ぎふ木育」の新たな展開

(a) 「ぎふ木育」の全県展開

(b) 「ぎふ木育」の指導者の育成と活用

(2) 国・他県の状況

- ・国は同様の機関はなし。(公益社団法人国土緑化推進機構が担う)
- ・都道府県において森林ボランティア等支援組織を設置しているのは22県

(3) 後年度の財政負担

サポートセンターの運営経費については、毎年同額程度の財政負担が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

業務で得た情報を蓄積した継続的な活動のために、県直営が妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内の森林づくりに関するイベントや団体の情報を紹介し、県民協働の森林づくりを推進する。
幅広い世代が森や木に親しみ、森林とのつながりを体験することができる機会を増やすため、木育・森林教育の両面から、ぎふ木育を普及することができる人材を育成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H27)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①参加型里山実施 団体数	32	53	50	50	50	106%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等による情報発信 389件 ・森林づくり活動に関する相談対応 52件 ・森林づくり活動に要する用具貸出 57件 ・里山づくり後継者養成講座 3回開催、63人参加
	指標① 目標：47 実績：40 達成率：85 %
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等による情報発信 515件 ・森林づくり活動に関する相談対応 72件 ・森林づくり活動に要する用具貸出 81件 ・木育・森林環境教育指導者養成講座 2回開催、16人参加
	指標① 目標：50 実績：53 達成率：106 %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>森林づくりに関するNPO等団体の活動が継続的に行われるように支援する必要がある。地域の特性を生かした森づくりや里山づくり、森や木に親しむ活動に関する講習会への関心は高い。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>森林づくりに関するNPO等団体数は横ばい状態であるが、継続的に活動が行われている。 また、「木育・森林教育指導者養成講座」を開催し、木育の指導者の森林や木材に関する知識の習得が図られた。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 2	<p>ホームページやメールマガジンを活用し、広く県民に森林づくりに関するイベントや団体を周知し、県民協働による森林づくりを推進する機運の高揚につながっている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 暮らしの中の木と森林とのつながりを伝えることができる人材の育成</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内各地のぎふ木育ひろばや豊かな自然、里山を活用し、木育・森林教育の両面から、ぎふ木育を普及することができる人材を育成する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	